

第 8 回 大臣表彰受賞者一覧

1	イオンモール株式会社	<p>○グループ全体で継続的に進めるユニバーサルデザインのスパイラルアップ</p> <p>「全てのお客様に安心して安全なお買い物をしていただく」ことを目標に、グループ全体で継続的なバリアフリーのスパイラルアップの取り組みを進めており、シンボルカラーによるエリア分け、身障者用駐車スペースの事前利用登録（不適正利用の排除）などの取組みを行っている。</p>
2	川崎市	<p>○ユニバーサルデザインに配慮した「人にやさしい」駅前広場の再整備</p> <p>施設の老朽化や歩行者の移動の円滑化等が課題となっていた川崎駅東口駅前広場について、ユニバーサルデザインに配慮したバリアフリー環境整備をキーワードに再整備を進め、全国初のUDタクシー専用乗り場の整備などを実施した。</p>
3	姫路市	<p>○国宝指定を受けた城郭の保存修理観覧時を含むバリアフリー化</p> <p>城郭であるため坂や階段が多く、また文化財保護の観点から対応が難しい歴史的建築物である国宝「姫路城」において、車椅子による見学を可能とするなど、大規模改修を契機としたバリアフリー整備に取り組んだ。</p>
4	佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター	<p>○ハード・ソフト両面における温泉地のバリアフリー化</p> <p>市や観光協会等と連携・協力し、高齢者や障害者でも温泉旅行を楽しむことができるよう、車椅子でも宿泊・入浴可能なように旅館の客室をバリアフリー改修するとともに、容易に脱着可能なUD浴衣の開発や入浴介助を行うなど、嬉野温泉のハード・ソフト両面でのバリアフリー化を進めている。</p>
5	特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議	<p>○空港を観光拠点とするユニバーサルツーリズムの多面的な活動</p> <p>沖縄の観光玄関口である那覇空港において、日本初の空港内観光案内所「しょうがい者・こうれい者観光案内所（沖縄バリアフリーツアーセンター）」を設置し、車椅子の貸出やバリアフリー情報の提供のほか、沖縄独自のバリアフリーガイドラインを作成するなど、障がい者・高齢者等の沖縄旅行をサポートするワンストップ相談窓口として、沖縄の観光バリアフリーを推進している。</p>